

献 辞

蔵重毅先生は、2010年3月末をもって神戸学院大学を早期退職され、同年4月より神戸学院大学名誉教授とされました。

蔵重先生は、本学法学部が創設されて間もない1969年4月に専任講師として着任され、41年間の長きにわたって、国際政治学、第三世界論の分野を中心に教育・研究に従事され、大学ならびに法学部の発展のために力を尽くしてられました。

蔵重先生は、学生部長（1986-87年）、法学部長・学校法人神戸森学園理事（1991-93年）などを歴任され、学部運営・大学運営に貢献されました。1994年に当時としては全国的にもユニークな国際関係法学科を設置するにあたっては、その中心メンバーの一人としてご尽力されました。また、法学部の創生期に受験生の確保のために広域にわたって高校訪問を続けられたというエピソードには時代の重みを感じるとともに、大学全入時代を迎えて、われわれもこの初心に帰る必要性を痛感しているところです。

他方、蔵重先生は、研究対象とされてきた「メキシコ」に比類なき愛着を示され、メキシコ大学院大学やメキシコ外務省外交研究所などに客員研究員として何度も訪問されています。また教育面では、法学部が推進する短期海外研修の引率を率先して引き受けられ、イギリスのケント大学やオーストラリアのアデレード大学に学生を率いて訪問されました。研修中は、トラブルを恐れず学生の自主性を重視するのが先生の教育方針でした。外部連携・社会貢献に関しても、兵庫県との連携による市民講座「ひょうご講座」において、国際関係・国際政治に関する講座のコーディネータおよび講師として貢献してられました。

なお、個人的なエピソードで恐縮ですが、蔵重先生が法学部長を務めておられたときに長期在外研究の機会を与えていただき、英国のリーズ

大への留学の意思を固めていたころ、たまたま本学とリーズ大学が交流協定を結ぶことになり、当時の倉田学長とともにリーズ大学を訪問されました（1992年4月末）。その際に、先生が私のことを先方の学長、副学長に伝えていただいたおかげで、スムーズにリーズ大学に受け入れていただくことができたという思い出があります。

近年、蔵重先生には、法科大学院の設置以降、新任教員、若手教員が多くなった法学部の中であって、教授会の重鎮あるいは御意見番として、学部を支えていただきました。

蔵重先生の長年にわたるご尽力、ご貢献に心より感謝と敬意を表しますとともに、今後の先生のご健勝と益々のご活躍を祈念し、謹んで本号を献呈させていただきます。

2011年3月

法学部長 佐藤雅美